

FUJILLOY

2020年3月期 株主通信

## 富士ダイス通信

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

## 当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトに紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス 検索

<https://www.fujidie.co.jp/>

## ごあいさつ

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当社第64期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)の事業概況をご報告申し上げます。

当社グループの活動状況につきましては、更なるご理解をいただけるように透明性、公平性、継続性を基本として積極的な情報開示をしていきます。株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループの発展にご期待をいただきまして、長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

## ▶ 当期の概況

わが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復傾向がみられたものの、長期化する米国の通商政策による貿易摩擦の深刻化、英国のEU離脱問題、消費税増税や相次ぐ自然災害による消費マインドの低下に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的な経済下振れ懸念が高まった状況にあります。

こうした状況のなか、当社グループは「挑戦」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービスの向上に努めてまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は17,426百万円(前連結会計年度比5.1%減)となりました。利益につきましては、売上高の減少等により、営業利益は875百万円(前連結会計年度比31.2%減)、経常利益は1,008百万円(前連結会計年度比25.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は625百万円(前連結会計年度比34.3%減)となりました。

## ▶ 来期の見込み

新型コロナウイルス感染症拡大の終息について目処が立たないなか、従業員の安全を確保し、お客様、お取引先様等への影響を最小限にとどめるよう対策を取っております。当社グループは、2018年度から2020年度の3カ年を対象期間とした中期経営計画を策定しております。来期も、更なる企業価値の向上に向けて、①成長力・収益力の強化、②顧客ニーズの変化への柔軟な対応、③海外展開、④新製品開発、新技術開発の取り組みを進めてまいります。なお、通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響を、現時点において合理的に算出することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の合理的な算出が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

## ■ 連結業績ハイライト

(単位:百万円)

|                 | 2020年3月期 | 前期比     | 2021年3月期予想                                  |
|-----------------|----------|---------|---------------------------------------------|
| 売上高             | 17,426   | △ 5.1%  | 新型コロナウイルス感染症の影響を現時点で合理的に算出することが困難であることから未定。 |
| 営業利益            | 875      | △ 31.2% | 今後、業績予想の合理的な算出が可能になった時点で開示。                 |
| 経常利益            | 1,008    | △ 25.2% |                                             |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 625      | △ 34.3% |                                             |



代表取締役社長 西嶋 守男

## 配当方針

期末配当  
24円

利益の状況、将来の事業展開等を総合的に判断し、適切な利益配分を行うことを基本方針としております。今後は、財政状態及び経営成績を勘案した上で、配当性向50%を目処に利益還元を行っていく予定です。

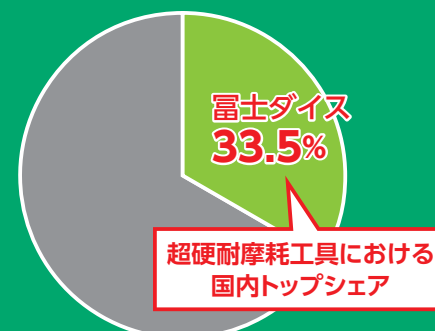
# 富士ダイスの強み

## 超硬耐摩耗分野で国内No.1シェア

当社は創業以来、**超硬耐摩耗工具**の製造に経営資源を集中してきました。**塑性加工**力学に立脚した設計から原料粉末の調製、焼結、加工、製品検査まで、世界最高水準の技術と技能を有しています。また、一貫生産体制によってお客様のニーズに最適な超硬合金製品を提供し、超硬耐摩耗工具業界では、長期に亘り国内No.1シェアを堅持しています。

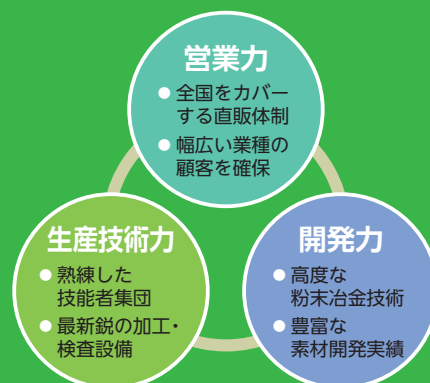


2019年度の国内シェア



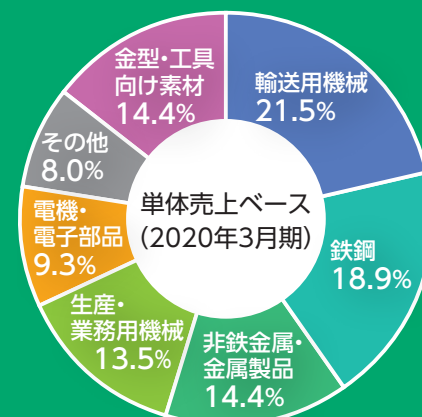
## 高い競争力を産み出す3つの力

お客様のニーズ把握や課題解決提案のために、業界最大級の約100名の営業員を擁する直接販売による営業力。高度な**粉末冶金技術**を駆使し、豊富な実績を誇る**素材開発**力。熟練した技能者集団と最新鋭の加工・検査設備による高い生産技術力。これら3つの力の総和によって、お客様の要望にタイムリーに対応し、最適なソリューションを提供することで高い競争力を実現しています。



## 取引先は多業種に亘る3,000社超

当社の超精密、高精度、高品質な超硬製品は、建築物や光通信等のインフラ設備から、輸送用機械、コンピューター、医療機器、家電製品、生活用品に至るまで、非常に広範な産業分野における部品製造や素材として利用されています。このように、永年のモノづくりの安全と信頼を支えて築いた取引社数は、年間3,000社を超えています。



## 景気変動や経済危機に強い堅固な財務基盤

景気変動や昨今の新型コロナ禍のような不測の事態による経済危機の発生時にも、事業継続に不安のない財務の健全性(高い自己資本比率、潤沢な手元資金)を誇っています。また、創業から現在に至るまで約70年に亘り黒字経営を続けています。

### 不測の事態等発生時にも安心の潤沢な手元資金

- 純資産 189億円
- 自己資本比率 76.4%
- ネットキャッシュ 60億円

### 用語解説

#### 超硬耐摩耗工具

耐摩耗性、高弾性率、高圧縮強度が求められる工程に用いる高硬度、高強度な特性を有する超硬合金製の工具をさします。

#### 塑性加工

物質に力を加えて塑性変形させ、各種形状に加工する方法。圧延加工、鍛造加工、押出加工、引拔加工、プレス加工等があります。

#### 粉末冶金技術

金属粉の製造(形状、寸法、混合の調製)及び金属粉の圧縮、成形、焼結によって金属製品を製造する技術。

#### 素材開発

耐摩耗性だけでなく耐熱性、耐食性、非磁性等、多様な機能を持つ新素材(超硬合金、セラミックス、固体潤滑複合材料他)を開発しています。

# Q FUJILLOYってなんですか？

企業価値を生み出す源泉

# FUJILLOY

とは？

- 富士ダイスグループが提供する製品の商標（超硬合金、銅タン合金、セラミックス他）
- 製品ブランドでありトレードマーク
- 日本国内だけでなく、EU、米国、中国、インド、ASEAN等世界主要国で商標登録

お客様の最終製品例

タイヤ



輸送機器



ダイス・プラグ



ロール



冷間鍛造用金型



防犯カメラ



飲料缶



製缶金型



光学素子成形用金型



一般食缶



**FUJILLOY  
耐摩耗工具  
主要製品**

さまざまな製品の  
製造工程に  
用いられています!!

超高圧発生用工具



カメラレンズ



医療用機器



人工ダイヤモンド



## 耐摩耗工具ってなんですか？

- 超高精度の金属加工（塑性加工）を実現する工具・金型
- モノづくりのコアな工程における、生産性に直結する重要な部材
- 最適な工具・金型選びが、加工速度、精度に大きく影響

## Q どんな製品の製造工程に使われているのですか？

- お客様の製造工程における生産性（加工速度や精度）向上に直結する超高精度の工具・金型を提供

# 持続的な成長に向けた取り組み

## 生産部門の効率改善

### マシニングセンター (MC) 工程

#### 改善内容

- アーム付きロボットの導入  
→ セット治具の充実  
→ MC機の稼働時間向上



#### 効果 (作業時間等)

- 稼働時間月平均321時間の増加  
(2018年度比)



### 高精度加工工程

#### 改善内容

- 自動車関係の高精度金型の取り込み  
→ 試作・評価確認  
→ 量産化への課題抽出



#### 効果 (作業時間等)

- 試作品の客先評価良好
- 対象製品の生産金額年249%増加  
(2018年度比)



## 新製品開発・新技術開発

### マイクロレンズアレイ用金型の開発

#### 技術的特性

- 微小なレンズエレメントを複数配置
- アレイ間のピッチ精度1 $\mu$ m
- 複数レンズの形状精度1 $\mu$ m



#### 期待される 用途例

- 光通信、プロジェクター、レーザー光、  
照明等の光学系に用いられる
- 5G通信にも適用可能



マイクロレンズアレイ用金型

### 超硬合金直彫り加工技術の開発

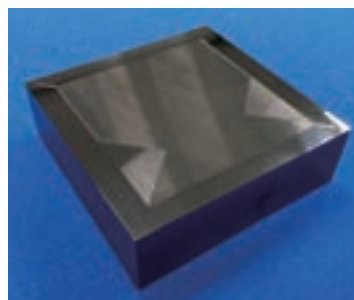
#### 技術的特性

- 微細な流路形状を複数配列
- 流路配列のピッチ精度1 $\mu$ m
- 流路断面の形状精度5 $\mu$ m



#### 期待される 用途例

- 医療分野  
→ 分析デバイス用成形金型  
(マイクロ流路、マイクロウエル)
- エネルギー分野  
→ 二次電池部品加工用金型



流路金型(超硬合金)

#### マシニングセンター (MC)

金型や金属部品の加工に用いる多数の切削工具を持ち自動で工具を交換し、異なる種類の加工を1台で行うことができる数値制御工作機械のこと。

#### 二次電池

充電して繰り返し使える電池。近年のハイブリッド車や電気自動車には、二次電池であるリチウムイオン電池が主に使用されています。一次電池は、充電できず使用後に廃棄する乾電池等をさします。

# ESGの取り組み

E

Environment  
環境

## 環境配慮製品への切り替え

### FSC認証紙、 ベジタブルインキへの転換推進

株主通信では以前よりFSC認証紙、ベジタブルインキを用いた印刷で発行しています。毎月発行している社内報にも環境配慮への範囲を拡大しました（2020年4月よりリニューアル）。

今後さらに、可能なものから環境に配慮した製品に切り替えていく予定です。



S

Social  
社会

## タイ法人※：タイ人マネージャー任命

### 多様性と適材適所配置の推進

当社海外グループ会社のタイ法人にて生産技術部を新設し、タイ人をマネージャーに任命しました。

多様性や人材の適材適所配置を進めていく取り組みの一つです。また、生産技術部の新設には現地調達メリット（短納期、顧客ニーズへの即応等）があります。顧客との重要な接点を持つ部署として、タイ人マネージャーを中心に意思疎通の活性化を図っていきます。

※タイ法人：FTC (FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD.)

G

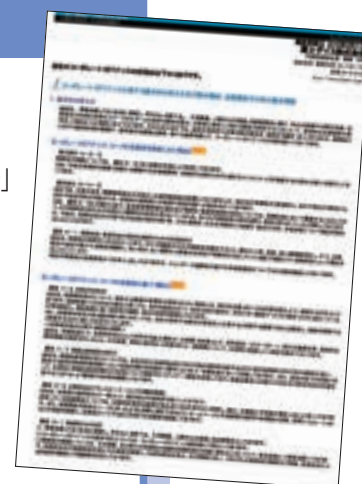
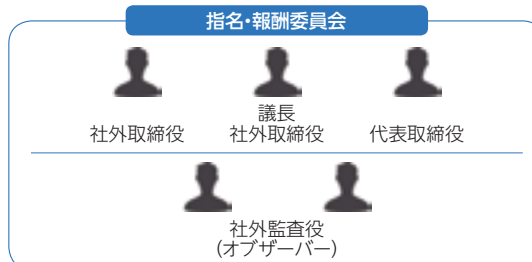
Governance  
統治

## 指名・報酬委員会 設置

### コーポレートガバナンスの充実に向けて

取締役会の諮問機関として独立社外取締役が過半数を占める任意の「指名・報酬委員会」を設置しました（2019年12月）。

取締役の指名や報酬等に関する手続きの公平性、透明性、客観性を強化し、当社のコーポレートガバナンスの充実に図ります。



#### FSC認証

「適切な森林管理」を認証する制度。世界的な森林減少・劣化の課題解決を背景として生まれました。国際NPOのFSC(森林管理協議会)に認証された用紙が、環境に配慮した「FSC認証紙」です。

#### ベジタブルインキ

環境にやさしい原材料「植物油」を使用しているインク。揮発性有機化合物(VOC)の排出量が少ない等、再生可能資源で環境負荷の低減、自然保護に貢献しています。

# コーポレートデータ

## ■連結決算データ

(単位:百万円)

|                 | 2017年3月 | 2018年3月 | 2019年3月 | 2020年3月 |
|-----------------|---------|---------|---------|---------|
| 売上高             | 16,648  | 17,990  | 18,356  | 17,426  |
| 営業利益            | 1,161   | 1,465   | 1,272   | 875     |
| 経常利益            | 1,194   | 1,473   | 1,348   | 1,008   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 855     | 932     | 950     | 625     |
| 1株当たり当期純利益(円)   | 42.76   | 46.63   | 47.54   | 31.25   |
| 総資産             | 25,245  | 26,245  | 25,752  | 24,815  |
| 純資産             | 17,836  | 18,397  | 18,749  | 18,969  |

## ■会社概要 (2020年3月31日現在)

社 名 富士ダイス株式会社  
 創 業 1949年6月6日  
 本社所在地 〒146-0092  
 東京都大田区下丸子2-17-10  
 資 本 金 164百万円  
 拠 点 営業拠点13 生産拠点7  
 グループ会社 国内2社 海外5社  
 従 業 員 1,155人(連結)

## ■役員一覧 (2020年3月31日現在)

代表取締役社長 西嶋 守男 常勤監査役 宮川 弘  
 常務取締役 久保井 恒之 社外監査役 岸田 一男  
 常務取締役 春田 善和 社外監査役 大森 実  
 取 締 役 千葉 理彦  
 取 締 役 渡邊 祥司  
 取 締 役 多田 隈 豊  
 社外取締役 本多 實  
 社外取締役 澤井 英久

## ■株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで  
 定時株主総会 毎事業年度終了後3ヶ月以内  
 株主確定基準日 毎年3月31日  
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日  
 株式の売買単位 100株  
 証 券 コ ー ド 6167  
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第1部  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1  
 電話 0120-232-711(通話料無料)  
 郵送先 〒137-8081  
 新東京郵便局私書箱第29号

公 告 方 法 電子公告により行います。ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。公告掲載URL  
<https://www.fujidie.co.jp/>

## ■IRカレンダー

| 第1四半期  |    |    | 第2四半期     |    |    | 第3四半期     |     |     | 第4四半期     |    |    |
|--------|----|----|-----------|----|----|-----------|-----|-----|-----------|----|----|
| 4月     | 5月 | 6月 | 7月        | 8月 | 9月 | 10月       | 11月 | 12月 | 1月        | 2月 | 3月 |
| ● 期末決算 |    |    | ● 第1四半期決算 |    |    | ● 第2四半期決算 |     |     | ● 第3四半期決算 |    |    |
| ● 招集通知 |    |    |           |    |    |           |     |     |           |    |    |
|        |    |    | ● 定時株主総会  |    |    |           |     |     |           |    |    |
|        |    |    | ● 株主通信    |    |    |           |     |     | ● 株主通信    |    |    |
|        |    |    |           |    |    |           |     |     | ● 期末配当基準日 |    |    |

## 富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10  
 TEL:03-3759-7182 <https://www.fujidie.co.jp/>



本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。